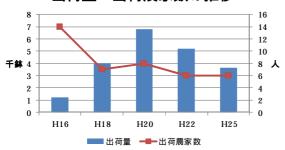
## 現 状

## 1. 生產規模

# 出荷量・出荷農家数の推移



総合農業技術センター

・出荷量(認証農産物)は減少傾向にあるが、気候条件による影響を受けやすく、年による変動が大きい。

## 2. 生産者の取り組み

- ・栽培技術の高位平準化を図るため、研究会で定期的 な生育状況の確認や検討を行っている。
- ・夏期、高標高地に山上げし、開花期の前進化と高品質化を図っている。

# 3. 県の取り組み

- ・県が技術開発したオリジナルフラワーとして、平成 18年に栽培方法の特許を取得し、ブランド化を図っている。
- ・高度な技術により栽培され、高い品質基準を満たした生産物を「富士の国やまなしの逸品農産物」として認証している。
- ・開花期の前進化を図るため、高標高地への山上げ技 術を開発した。

課題対策

## 1【生産】

#### 1 -

- ・開花時期が不安定であるため、11月からの販売需要に対応できていない。
- ・出荷量・時期が出荷直前まで把握できず、販売しに くい状況が続いていることから、早期開花に向けた 技術開発が求められている。

1 -

・産地ブランドを維持するため、栽培技術を生産者間 で平準化し、認証率をさらに上げる必要がある。

## 2【販売】

2 -

・出荷量・時期が出荷直前まで把握できず、年度による成品率の差や生産者間の品質差が大きく、販売活動への影響が大きい。

2 -

- ・クリスマスの定番商品として定着させるため、管理 方法や飾り方などの商品情報を消費者や小売店に提 供する必要がある。
- ・魅力ある商品作りや販売促進活動の推進を支援する 必要がある。

1

・総合農業技術センターの試験研究課題「変温管理による低コスト鉢花栽培技術の確立」(H27~29)で変温管理技術による早期開花技術の有効性を確認し、技術確立を図る。

1 -

・生産者組織の現地検討会等の活動を支援するととも に、関係機関と連携し、計画的な生産を支援する。

2 -

・有利販売に向けて、JAが実施する生育状況や市場への出荷時期・数量など、情報発信を支援する。

2 -

- ・生産者組織や農業団体が品評会等のイベントを通じ て、消費者への商品情報の提供を支援する。
- ・消費者のニーズにあわせた商品作りや販売促進活動 を支援する。

22,3 47 90					
対策に向けた	H 2 8	H 2	0	H 3 0	H 3 1
スケジュール	ПСО	П 2	2 9	пэч	пэт
1 -	栽培技術確立 ———		技術普及 ───		
	栽培技術支援・組織活	動支援 ——			<b></b>
	産地情報収集・情報提供			<b></b>	
2 -	商品等情報発信支援				<b>&gt;</b>
-	販売促進活動支援	-			<del>`</del>